

<p>草の根活動 交流NEWS</p>	<p>第748号 2025年12月25日 会員数158万3382人 読者数 5021人</p>	<p>消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp</p>
--------------------------------	---	---

軍事費より消費税減税でしよう！



クリスマス、大晦日、お正月と楽しいイベントが続きますが、何かと出費がかさみます。加えてこの物価高、クリスマスケーキの平均価格は4740円(税抜)。おせち料理の平均価格は3万円の大台が目前。臨時国会が17日に閉会し、補正予算が自民、維新、公明の賛成で成立しました。補正予算にはGDP比2%の軍事費を今年度中に達成させるため、1兆1千億円が盛り込まれました。「なぜ補正予算に軍事費??」と怒りが沸いてきます。軍事費を増やすより消費税減税でしよう。なくす会は、消費税減税・廃止を公約した8政党に減税法案の共同提出を求めるとともに「1万人対話運動」を呼びかけています。街頭で、地域で対話を進めましょう。

団地で対話すると署名が集まる 全国の会の事務局



総会後の常任世話人会で「地域で対話すると署名が集まる」「対話すれば署名を断る人はいない」との報告が各地から寄せられました。事務局も実践しよう

と12月11日、滝野川3丁目都営住宅を訪問。事前に署名用紙に「11時から12時の間に署名用紙を回収に来ます」と書いた署名用紙を張り付けて100軒に事前に配布して訪問。5人分の署名を記入してくれていた人や訪問を待ってくれていた人、追っかけてくれてきた人もいました。「暮らしが大変」「頑張してほしい」など激励され、35軒と対話し、24人の署名が寄せられました。参加した事務局は「本当に署名用紙の回収を待ってくれていた人がいた。対話すれば署名は集まる」「厳しい生活実態がよく分かった。消費税減税は切実」と確信を深めました。

11月の巣鴨駅前の定例宣伝では60代の男性が「消費税は5%減税・廃止に賛成、大企業の内部留保に課税すべき」と話し署名に応じてくれました。

学習会で読者が増える

埼玉の会

生活と健康を守る埼玉県の会の税金学習会で埼玉の会の永塚友啓さん(税理士)が講師を務めました。15人ほどが参加し、永塚さんは学習会の冒頭に会報「ノー消費税」の購読を訴えました。参加者

の中には読者の人もいて「この会報いいよ「埼玉の会」のニュースも折り込んでいるよ」と言ってくれて3人の読者が増えました。

学習会には生健会の役員が参加し2割特例やインボイスについて学習。生健会の会員の中にインボイスを発行するために課税業者を選択せざるを得なかった人たちの相談に乗れるように学びました。生健会の仲間もインボイス制度に苦しめられています。

4月の総会まで読者50人へ 熊本の会

熊本の会は12月13日に世話人会を開き、今後の活動について話し合いました。新たな世話人をつくり4月の総会までに読者を50人にする。年4回発行していたニュース発行を再開させる。総会を4月11日(土)に開催することを確認しました。早速読者が1人増えました。

青年と一緒に学習会を開催 愛知の会

愛知の会では、共産党の名北地区員会と民青同盟が「お金の使い方と社会保障」のテーマで学習会を開催しました。小学生から90代までの10人が参加。「輸出大企業への還付金の数字を見てびっくり」「黒川で宣伝をしていると生活保護を受けている人たちが怒っていた。学生も学費に苦しんでいる」などの意見が続々と。みんなで学べば元気と希望が沸いてきます。

